

松前の 防災力

危機管理係 ☎ 985-4103

自助・共助で取り組む

わが家の災害対策講座 ～第3回～

vol. 11

いつかより、 今がそのとき…地震の備え

近年発生した大きな地震では、家具類の転倒・落下や割れたガラスによる負傷者が、全体の約3割～5割を占めています。地震から身を守るため、できることから今すぐ始めましょう。今回は転倒防止器具を紹介します。



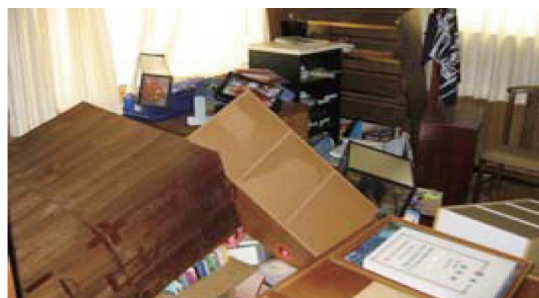
①家具転倒防止ポール・つっぱり棒

タンスや食器棚など大きな物の転倒防止対策が手軽で簡単にできます。取り付けにねじやくぎを使わないので家を傷つけることもありません。近くのホームセンターなどにあり、値段もお手頃です。



②家具転倒防止安定板 (写真中：赤い板)

高さが低く、つっぱり棒では天井に届かない家具におすすめです。設置方法は「家具の下に敷くだけ」とシンプルで簡単。テレビ台、高さの低いタンスや棚などに使用することができます。その他にも、壁や天井に傷が付きますが、ベルト、チェーンやL型金属で壁や天井に直接固定するものもあります。



▲平成19年新潟中越沖地震の被害例

設置の ワンポイントアドバイス

転倒防止器具は1つだけで設置するのではなく、組み合わせて使用するとより大きな効果が得られます。例えば、天井につっぱり棒を設置して、床に安定板を設置すると、家具の安定感が増します。賃貸住宅などに住んでいて、家具と壁を直接固定できない人には特におすすめです。

「後で」は手遅れになることがあります。「できるとき」に「できること」から始めましょう。

あなたに役立つ防災の情報をお届けします 防災ニュース

原子力防災訓練を行います

10月22日、伊方発電所で福島第一原子力発電所と同様の事故が発生した場合を想定して、広域避難訓練が実施されます。避難行動は県広域避難計画に基づいて行われ、当町には松前公園体育館に、伊方町や伊予市からヘリコプター、バスや自家用車を使って約200人の避難者が来る予定です。その後、体育館では避難者のスクリーニングや除染などの緊急被ばく医療活動訓練が行われます。